

令和3 年度第12回ヨコハマe アンケート

医療分野におけるICT技術の利活用に関するアンケート

実施期間 令和3年10月29日（金）から11月12日（金）

事業所管課 医療局 医療政策課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	13 (0.4%)	59 (1.7%)	194 (5.5%)	418 (11.9%)	433 (12.3%)	424 (12.1%)	254 (7.2%)	1 (0.0%)	1,796 (51.2%)
女性	9 (0.3%)	102 (2.9%)	481 (13.7%)	541 (15.4%)	383 (10.9%)	132 (3.8%)	41 (1.2%)	0 (0.0%)	1,689 (48.2%)
不明	1 (0.0%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	6 (0.2%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	22 (0.6%)
計	23 (0.7%)	164 (4.7%)	678 (19.3%)	965 (27.5%)	820 (23.4%)	560 (16.0%)	296 (8.4%)	1 (0.0%)	3,507 (100.0%)

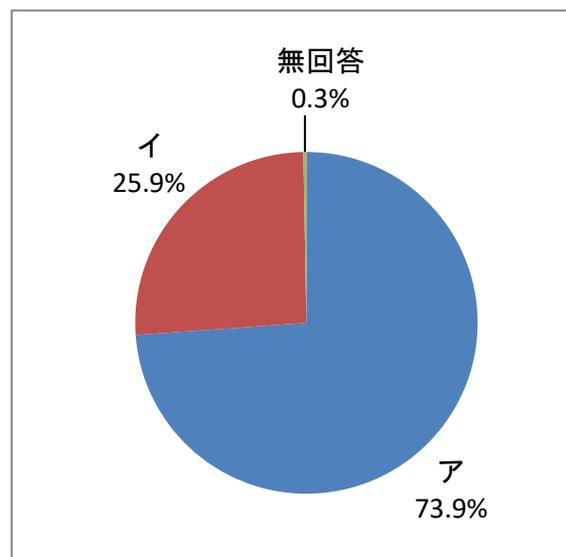
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	0 (0.0%)	13 (22.0%)	59 (30.4%)	193 (46.2%)	204 (47.1%)	260 (61.3%)	139 (54.7%)	1 (100.0%)	869 (48.4%)
女性	1 (11.1%)	10 (9.8%)	105 (21.8%)	184 (34.0%)	162 (42.3%)	67 (50.8%)	18 (43.9%)	0 (0.0%)	547 (32.4%)
不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (31.8%)
計	1 (4.3%)	23 (14.0%)	164 (24.2%)	380 (39.4%)	368 (44.9%)	329 (58.8%)	157 (53.0%)	1 (100.0%)	1,423 (40.6%)

Q1 電話やスマートフォンを用いて医療機関に相談や受診をすることができる「オンライン診療」を知っていますか。
(単一選択)

n = 1,423

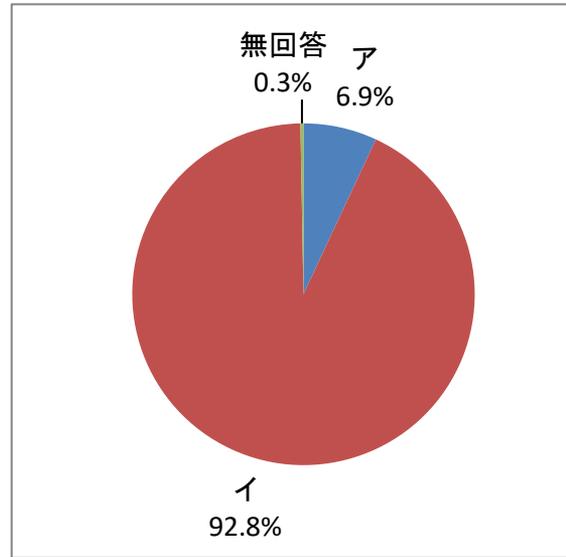
ア	はい (⇒Q2)	73.9%	1,051
イ	いいえ (⇒Q4)	25.9%	368
無回答		0.3%	4
		100.0%	1,423



Q2 Q1で「ア はい」と回答された方にお聞きします。オンライン診療を利用したことがありますか。
(単一選択)

n = 1,051

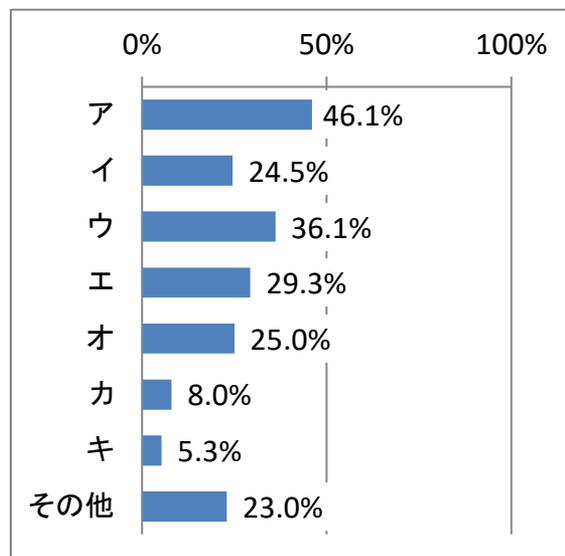
ア	はい	6.9%	73
イ	いいえ	92.8%	975
無回答		0.3%	3
		100.0%	1,051



Q3 Q2で「イ いいえ」と回答した方にお聞きします。オンライン診療を利用したことがない理由を教えてください。
(複数選択可)

n = 975

ア	オンライン診療をやっている医療機関を知らないため	46.1%	449
イ	対面診療と比べ診療内容に不安があるため	24.5%	239
ウ	近くの医療機関(かかりつけ医を含む)が対応していないため	36.1%	352
エ	オンライン診療の受診方法がわからないため	29.3%	286
オ	検査や処置をしてもらうことができないため	25.0%	244
カ	診療のため利用するシステム(Web会議システムなど)のセキュリティに不安があるため	8.0%	78
キ	診療のため利用するシステム(Web会議システムなど)のトラブルが発生するかもしれない不安を感じるため	5.3%	52
その他		23.0%	224



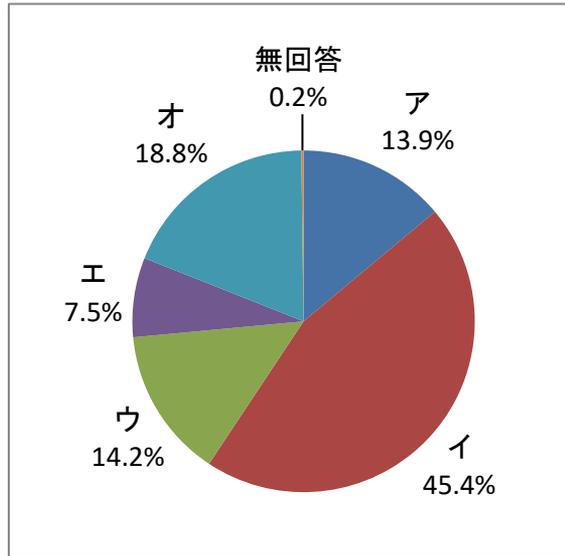
その他(抜粋)

受診する必要がなかったから。
オンライン診療を利用する機会がないため。
オンライン診療の必要性を感じないから。
近くにクリニックがあるので、オンライン診療を利用しなくても、対面での診療が必要な時に受診できるため。
料金体系などもわからないし、そもそもシステムが良くわからないから。
結局、オンラインでも薬の受け取りのために外出が必要になるから。

**Q4 オンライン診療を今後利用したいと思いますか。
(単一選択)**

n = 1,423

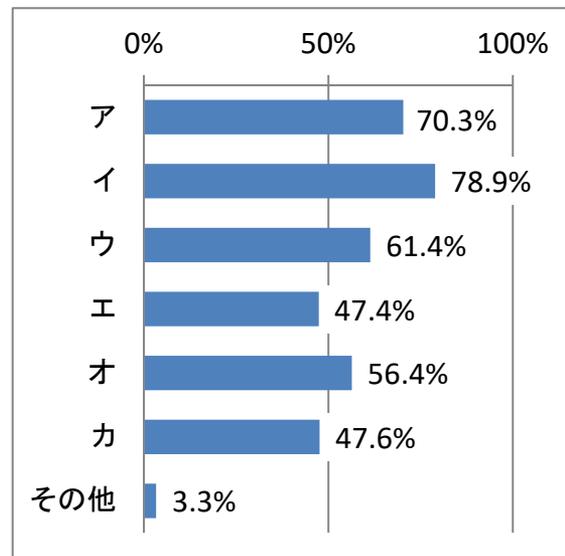
ア	ぜひ利用したい (⇒Q5)	13.9%	198
イ	できれば利用したい (⇒Q5)	45.4%	646
ウ	できれば利用したくない (⇒Q6)	14.2%	202
エ	利用したくない (⇒Q6)	7.5%	107
オ	どちらでもない (⇒Q7)	18.8%	267
無回答		0.2%	3
		100.0%	1,423



**Q5 Q4で「ア ぜひ利用したい」または「イ できれば利用したい」と回答した方にお聞きします。
その理由を教えてください。
(複数選択可)**

n = 844

ア	通院時間がかからないため	70.3%	593
イ	病院での待ち時間がかからないため	78.9%	666
ウ	都合のよい時間に受診することができるため	61.4%	518
エ	都合のよい場所で受診することができるため	47.4%	400
オ	院内感染・二次感染の心配がないため	56.4%	476
カ	遠方の専門病院・医療機関でも受診することができるため	47.6%	402
その他		3.3%	28



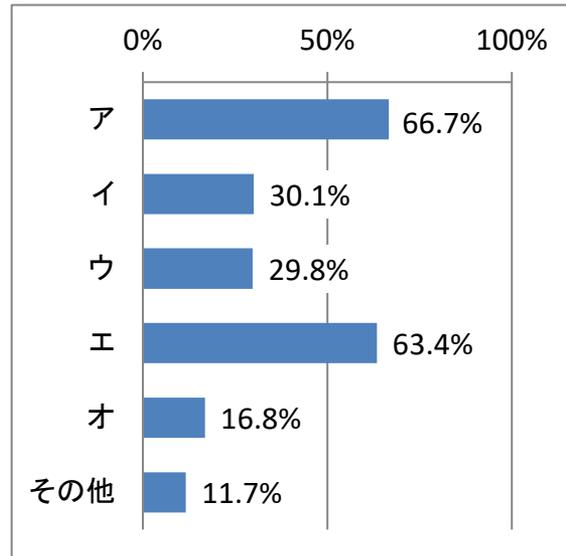
その他 (抜粋)

処方箋を頂くのがメインなので、対面診療と特段変わりなければ積極的に利用したい。
コロナ対応で逼迫している医療機関への負担を減らせるのではないかと期待しています。
対面診療は、仕事の都合でなかなか受診できず先延ばしにしがちだが、オンライン診療なら気になったらすぐに受診できる。また通院のために会社を休まなくて済む。
辛いときに病院まで行かないで済む。
他人の目を気にしなくて良い。

Q6 Q4で「ウ できれば利用したくない」または「エ 利用したくない」と回答した方にお聞きます。その理由を教えてください。
(複数選択可)

n = 309

ア	医師とコミュニケーションを取ることが難しく不安を感じるため	66.7%	206
イ	かかりつけ医が対応していないため	30.1%	93
ウ	オンライン診療の受診方法がわかりづらいため	29.8%	92
エ	検査や処置をしてもらうことができないため	63.4%	196
オ	診療のため利用したシステム(Web会議システムなど)のセキュリティに不安を感じるため	16.8%	52
その他		11.7%	36



その他(抜粋)

採血、採尿したいときは2度手間になる。

正しい診察ができるのか不安を感じる。

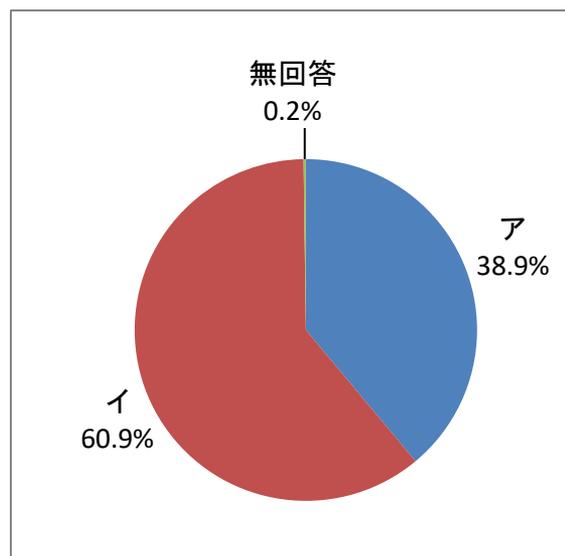
対面診療にそれほどデメリットを感じない。

診察料の支払いや処方箋、処方薬を受け取りに向く必要性は変わらないから。

Q7 全員にお聞きます。
スマートフォンやタブレット等を活用して、自身の健康管理を行っていますか。
(例:健康診断結果、血圧、体重などをスマートフォンアプリに入力し管理するなど)
(単一選択)

n = 1,423

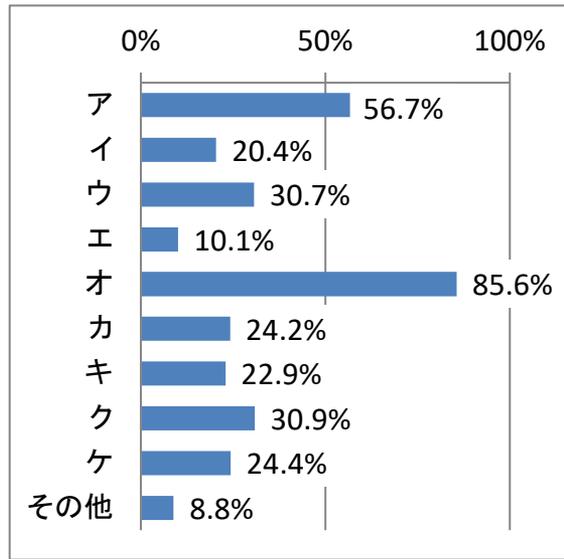
ア	はい (⇒Q8)	38.9%	554
イ	いいえ (⇒Q9)	60.9%	866
無回答		0.2%	3
		100.0%	1,423



Q8 Q7で「ア はい」と回答した方にお聞きします。
 あなたはどのような健康情報を管理していますか。
 (複数選択可)

n = 554

ア	体重	56.7%	314
イ	体温	20.4%	113
ウ	睡眠	30.7%	170
エ	食事	10.1%	56
オ	歩数・歩行距離	85.6%	474
カ	健診・検診結果	24.2%	134
キ	運動	22.9%	127
ク	血圧	30.9%	171
ケ	体脂肪率	24.4%	135
その他		8.8%	49



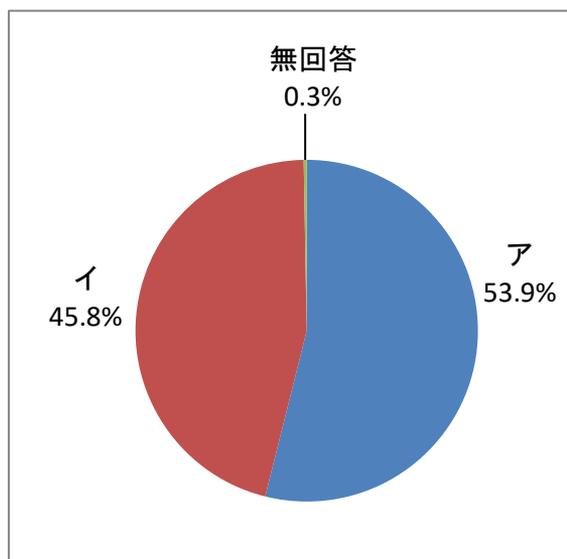
その他(抜粋)

月経周期
心拍数、心電図、酸素レベル
筋肉量、体内水分量、骨密度、内臓脂肪、タンパク質、基礎代謝量、体内年齢など

Q9 スマートフォンやタブレット等で管理している健康情報を近くの医療機関(かかりつけ医を含む)に共有したいと思いますか。Q7で「イ いいえ」と回答された方は、今後自身の健康管理をスマートフォンやタブレット等を活用して行うようになったと仮定してご回答ください。
 (単一選択)

n = 1,423

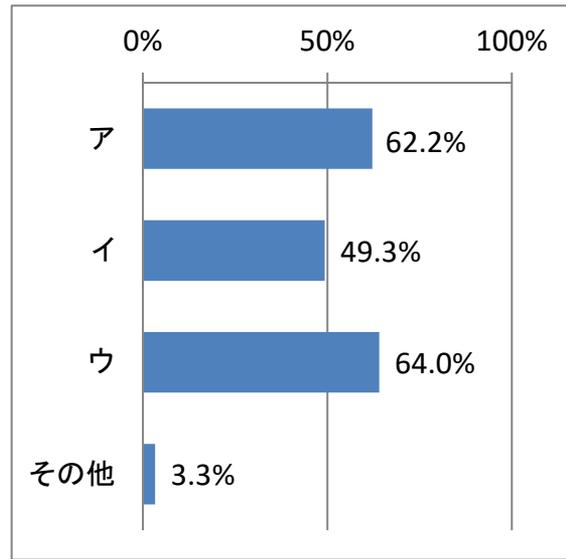
ア	はい (⇒Q10)	53.9%	767
イ	いいえ (⇒Q11)	45.8%	652
無回答		0.3%	4
		100.0%	1,423



Q10 Q9で「ア はい」と回答した方にお聞きします。
 スマートフォンやタブレット等で管理している健康情報を近くの医療機関(かかりつけ医を含む)に共有することでどのようなメリットを享受したいですか。
 (複数選択可)

n = 767

ア	医療機関などに生活習慣を見てもらいそれに対するアドバイスをもらいたい	62.2%	477
イ	医療機関などに生活習慣を見てもらい持病の治療に活かしてほしい	49.3%	378
ウ	初診時に自分の情報を把握したうえで対応してもらいたい	64.0%	491
その他		3.3%	25



その他(抜粋)

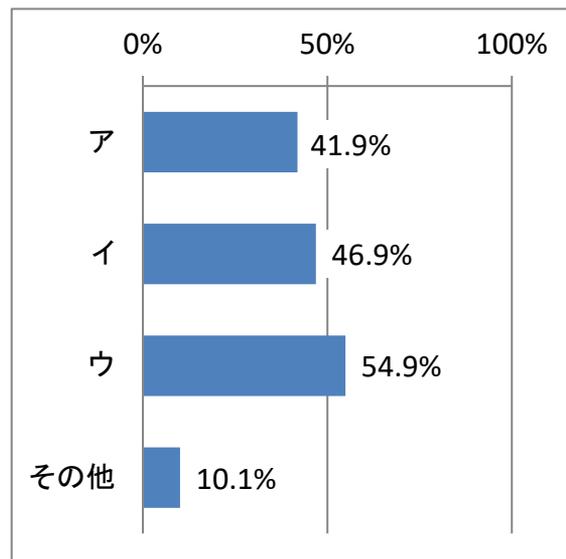
普段の健康状態を確認することにより得られる、的確なアドバイスや処置。

他の医療機関を受診する際、毎回自分の病歴や検査結果などについて、素人である自分が医師に報告するよりも医療機関側で情報を共有してくれた方が医療効果も上がり、時間の節約になると思います。

Q11 Q9で「イ いいえ」と回答した方にお聞きします。
 自身で管理している健康情報を近くの医療機関(かかりつけ医を含む)に共有したいと思わない理由を教えてください。
 (複数選択可)

n = 652

ア	情報漏洩のリスクに対する不安がある	41.9%	273
イ	個人情報共有することに対する不安がある	46.9%	306
ウ	必要性を感じない	54.9%	358
その他		10.1%	66



その他(抜粋)

健康情報を共有したいが、電子情報として共有することに不安がある。現在、受診時に紙に印刷した記録や、健康診断(紙)の結果を提示している。

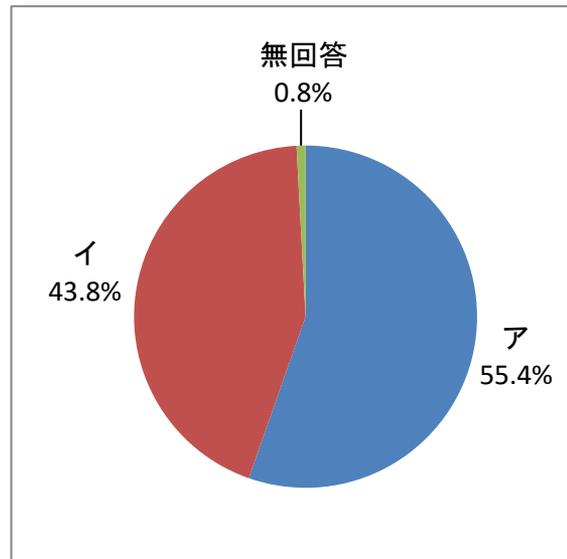
健康情報の管理を毎日続ける自信がないため。(スマートフォンで管理する際に、情報を手動で入力するなどの手間が発生するのであれば、面倒くさくなりそう)

例えば、ここ1年間の血圧情報を見せてくださいと言われれば見せると思いますが、必要性があるかわからない情報をすべて提示することに抵抗があるから。

Q12 スマートフォンやタブレット等で管理している健康情報について、複数の医療機関をつなぐICTネットワークと情報連携させることができれば、連携させたいと思いますか。
(単一選択)

n = 1,423

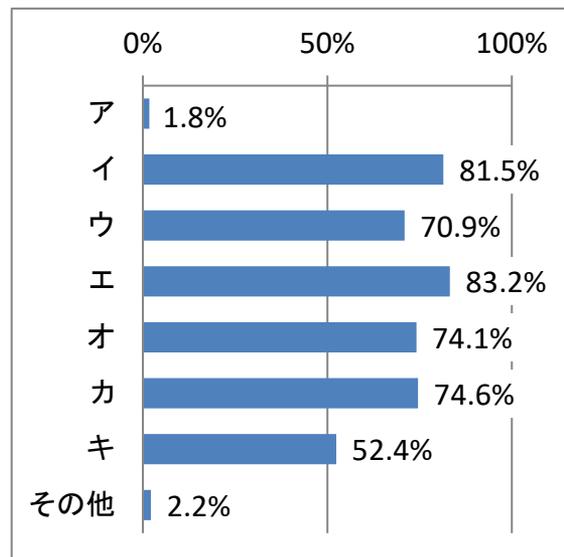
ア	はい (⇒Q13)	55.4%	788
イ	いいえ (⇒Q14)	43.8%	623
無回答		0.8%	12
		100.0%	1,423



Q13 Q12で「ア はい」と回答した方にお聞きます。医療機関が持っているあなたの医療情報などを自身のスマートフォンやタブレット等へ連携できれば、どのような情報を連携させたいですか。
(複数選択可)

n = 788

ア	連携させたくない	1.8%	14
イ	健康診断の結果	81.5%	642
ウ	既往歴	70.9%	559
エ	服用している薬の情報	83.2%	656
オ	受診履歴(どの病院でどのような治療をしたかなど)	74.1%	584
カ	検査結果	74.6%	588
キ	アレルギー情報	52.4%	413
その他		2.2%	17



その他(抜粋)

同世代の受診状況。(受診回数や主な症状、支払い額)

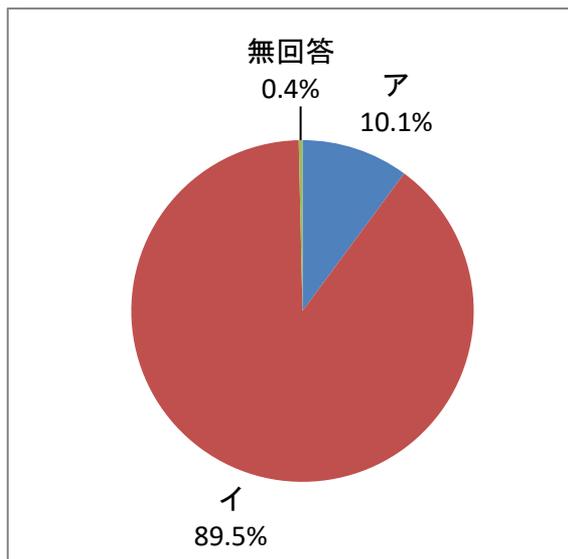
X線など、画像として管理されているデータ。

いざという時のリビングウィル。延命治療をするか、治療方針、亡くなった時の連絡先、葬儀や墓をどうするか、死後事務委任契約や遺言書の保管場所、など死後のことなど。

Q14 あなたは、「地域医療情報連携ネットワーク(EHR)」について知っていますか。
 ※地域医療情報連携ネットワーク(EHR)とは、市民の皆様が病院や介護施設、調剤薬局などを利用した際の医療・介護情報を、連携施設間で相互に共有するための仕組みです。
 【参考】サルビアねっとウェブサイト(平成30年度 横浜市EHR構築支援補助対象事業)
<http://tsurumi-salvia.net/about/#concept>
 (単一選択)

n = 1,423

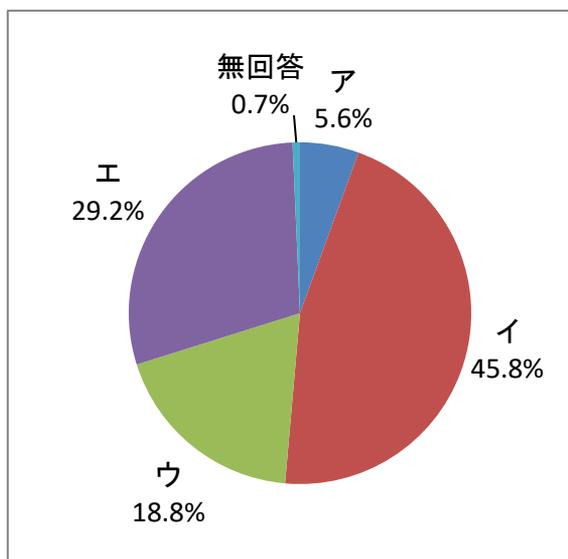
ア	はい (⇒Q15)	10.1%	144
イ	いいえ (⇒Q17)	89.5%	1,274
無回答		0.4%	5
		100.0%	1,423



Q15 Q14で「ア はい」と回答した方にお聞きします。あなたはこのような地域医療情報連携ネットワークに加入したいと思いますか。
 (単一選択)

n = 144

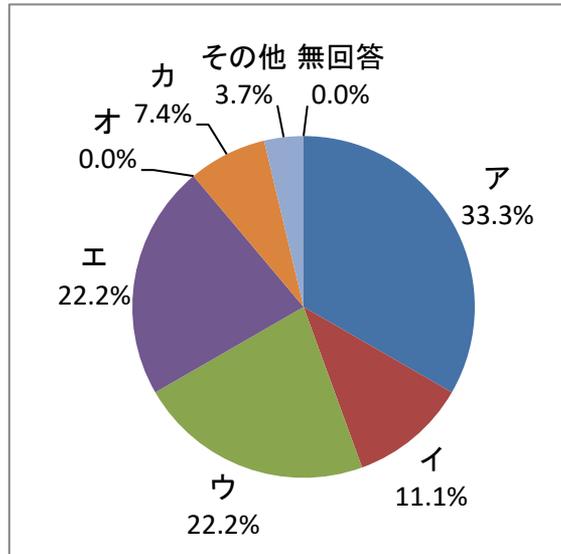
ア	すでに加入している (⇒Q17)	5.6%	8
イ	加入したい (⇒Q17)	45.8%	66
ウ	加入したくない (⇒Q16)	18.8%	27
エ	わからない (⇒Q17)	29.2%	42
無回答		0.7%	1
		100.0%	144



Q16 Q15で「ウ 加入したくない」と回答した方にお聞きします。加入したくない理由として、最も当てはまるものを選択してください。
(単一選択)

n = 27

ア	情報漏洩のリスク・セキュリティに対する不安	33.3%	9
イ	主治医以外へ情報共有することが不安	11.1%	3
ウ	自身の知らないところで情報が共有される不安	22.2%	6
エ	本来の目的以外(患者本人への医療以外)で利用される懸念	22.2%	6
オ	必要性を感じない	0.0%	0
カ	かかりつけ医を含む近くのクリニックがネットワークに対応していない	7.4%	2
その他		3.7%	1
無回答		0.0%	0
		1.9%	27



その他(抜粋)

情報の共有という理念は賛同できるが、この分野の情報開示、管理について整理すべき課題があるから。

Q17 医療におけるICT技術の利活用について、ご意見があれば自由にご記入ください。
(自由意見)

(抜粋)

マイナンバーカードで保険証、診察券、お薬手帳、その他情報を一元管理して、カード一枚で各機関が情報共有できるようになれば便利だと思う。
どんどん進めるべきだと思うが、セキュリティ面で不安を感じる。また、スマートフォンやパソコンを持っていない人たちが置き去りになってしまうようなことがあってはならない。
自分の受診履歴や、服薬履歴が共有されれば、正確な情報を提供されることで、診察に活かすことができると思う。過去に原因不明の咳で内科、耳鼻科、別の内科、呼吸器内科と4件受診したことがあり、どこでどういう診断がされたのかが履歴として共有されれば、最初に似たような検査をする必要がないし、診断の精度も上がると思う。
ICT技術に関する情報があまり周知されていないように感じるので、どのような機能があり、どのようなメリットを享受できるかもっと周知すべきだと思う。
当方、スマートフォンやタブレットを所有しておらず、パソコンで健康情報を管理しています。具体的には、健康機器類の使用法、栄養食の活用、病例等、多面的に活用しています。ICT技術が早く構築されれば、大変有効だと考えます。
自分自身ではまだ必要性を感じないが、介護老人保健施設や居宅ケアマネの仕事をしていると必要な技術だと感じます。
自分の健康のことはface to faceで信頼できる医師に相談したい。
ICT技術の利活用など最新の医療に関する様々な取り組みは素晴らしいことだと思いますが、高齢者が活用していくにはかなり難しいことだと考えています。私自身、パソコンは何とか少しできますが、これを携帯で作業するとなるとできる気がしませんし、したくないのが本心です。